

世界の恵まれない子供達に学ぶ機会を！ 学ぶ喜びを！

# SCOLA

Vol 15

認定 NPO 法人

## LS スコラ育英基金

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-28-13-101

☎:090-5411-8424

メール [scola@ls-scola.jp](mailto:scola@ls-scola.jp) ホームページ <https://ls-scola.jp/>

郵便振 00100-0-767496 特定非営利活動法人 LS スコラ育英基金

### 〈継続は力なり〉

皆様にはお元気でお過ごしでしょうか。約3年間、新型コロナウイルスの影に身を潜める日々でしたが、漸く、ほぼコロナ以前の日常性を取り戻した感がいたします。当基金がこの間も皆様からのご寄付その他有形無形のご支援を励みとして活動を継続できましたことに厚く御礼申し上げます。5月18日には令和6年度通常総会を開催し、全議案が出席社員11名の全員一致で承認されました。昨年度の活動・事業・会計報告並びに今年度の活動については、次頁以降をご覧ください。特徴的な出来事をあげると、

1. 私たちが初めて支援した学生がこの4月から社会人になりました。大きな喜びです。
2. 4年ぶりに再開した「ふじのくに留学生ツアー」に理事と社員が参加し、16か国18名の留学生とともに、富士山の雄大な自然とのふれあいや日本の伝統文化を体験してきました。今後も支援の現場で皆様のご意見を伺いたいと思います。
3. 積年の課題であった当基金の事務所の移転が叶いました。理事長の個人宅からコワーキングスペースへの引っ越しです。お気軽にお立ち寄りください。
4. 私たちの活動をより多くの方に知っていただくために、YouTubeによる「スコラニュース」の配信を2月からスタートさせました。外部の方にナレーターをお願いしており、今後視聴者を増やしていけたらなあ、と願っております。
5. 通常総会で、理事6名、監事1名全員が重任され、その後の理事会において理事長・副理事長・事務局長がもう2年間再任されました。役員の若返りが課題となる中、後進の育成が現役員の使命と肝に銘じます。

さて、ロシアがウクライナに侵攻してから2年半、昨年10月に発生したイスラエルとハマスの紛争、いずれも本格的な停戦の絵が描けないままになっています。さらに、いくつかの国や地域においては、自国第一・孤立的な姿勢が強まりつつあります。「平和宣言」が最初は小さな集りであっても、継続的に対話を重ね、「敵」をもその話し合いの中に引き入れることによって、より大きな群れの声となるように願っております。



ミャンマーの子供達

私たちの活動が NPO 法人化してから、今年で 16 年目、前身から通算すると 22 年目になりますが、小さな群れであっても、「継続は力なり」を信じて、今後とも「聖ラ・サールの精神」（「学びたくても学べない子供等を救おう」等）を受け継いで活動してまいります。皆様方のご支援を是非ともよろしくお願い申し上げます。（理事長 宇野哲人）

## ＜令和 6 年度通常総会の開催＞

令和 6 年度の通常総会は、5 月 18 日（土）10 時から港区新橋の航空会館でオンライン会議システムを併用して行われました。主な議事内容は以下の通りです。

1. 「令和 5 年度の事業報告及び収支決算」については、資料に基づく説明の後、
  - ・「ふじのくに留学生ツアー」について実際に理事が参加してよかったとのことなので安心した。
  - ・東京の学校に進学した仙台ラ・サール・ホームの子供へのケアも素晴らしい。などのコメントや評価を頂きました。
2. 「令和 6 年度の事業計画及び収支予算」については、特に海外の支援プロジェクトは現在進行中の案件であり又円安ということも踏まえて、今年度と来年度に分割して支援することで承認されました。
3. その他「令和 6 年度役員案」と、事務所の移転に合わせ事務所の表記を変更する「定款変更届出書」を東京都に提出することが承認されました。

## ＜令和 6 年度の事業計画＞

### 1. 国内の支援活動

- (1) 仙台ラ・サール・ホーム出身の大学等進学者の学生 4 名に対する奨学金（上期 24 万円・下期 24 万円、各期 6 万円/人）を計上し、上期分については 5 月に既に支給済みです。なお来年春の進学予定者は現在いないとの事なので、入学一時金（30 万円/人）の計上はしていません。
- (2) 海外からの恵まれない留学生への支援事業並びに国際交流事業への資金支援は、バス代等の一部支援として令和 5 年度は 10 万円でしたが、諸物価高騰に配慮し本年度は 15 万円を計上しています。

### 2. 海外の支援活動

- (1) ローマのラ・サール会本部と調整の結果、現在建設中の新しい教室とさまざまな教師の能力開発プログラムを目的としたアフリカのケニアにある聖ラ・サール・カレメノ校のプロジェクトを支援予定です。
- (2) ただ支援総額が約 2 万ドルということもあり、今年度と来年度に分割して支援予定です。



ケニア聖ラ・サール・カレメノ校の生徒達

### 3. 活動予算案

#### (1) 経常収益

皆様からの寄付金は、口座引落期限を迎えられる方が数名おられることから、予断を許しませんが、令和5年度予算並みの260万円を予定しました。

#### (2) 経常費用

上記内外の支援活動の事業費として226万円（送金手数料込み）、管理費として68万円の合計293万円を経常費用として予定しました。動画による活動の取材費用と事務局移転後の賃借料を新たに計上しております。

#### (3) 当期財産増減額及び次期繰越財産額

以上の結果、当期財産額は33万円減少し、次期繰越財産額は1,400万円を予定しております。

#### <ふじのくに留学生ツアーに同行して>

笠松秀樹（会員）

今年の「ふじのくに留学生ツアー」は3月1日から2泊3日で16カ国18名の参加者で実施。参加者の「共通言語は日本語」。茶道・座禅体験、ホストファミリーとの日常会話にも支障がない日本語レベル（初参加の私も会話可能！）。移動中のバスでは、それぞれの研究テーマや趣味などについては日本語で会話。16カ国から集まったメンバーとは思えないほどの一体感がありました。このツアーは沼津市民でつくる「ふじのくに留学生支援の会」の主催で、「アメリカでのホームステイの経験がありそのお返しをしたい」、「お世話をした方とはその後、海外のファミリーとして交流している」、「子供が海外留学の希望を持つようになった」などしっかりとした目的、実績＝継続が地域に根付いている実感を得ました。

日本人の精神的柱の一つとされる「富士山」を中心とする自然体験、歴史的施設の見学、ホストファミリーとの交流は彼らにとって日本への理解を深める「貴重な経験の一つ」として記憶されると思います。また、このツアーへの支援は留学生だけではなく地元で支援されている方々と当基金の連帯の輪を作る貴重な活動であると再認識いたしました。

#### <ふじのくに留学生ツアーの写真>



座禅体験をした長興寺で



富士浅間神社にて

## 令和5年度事業収支報告（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

活動計算書（要約）

（単位：千円）

科目	金額
<b>I 経常収益</b>	
受取寄付金	2,867
受取利息	0
経常収益合計	2,867
<b>II 経常費用</b>	
人件費	0
支援事業費	3,931
送金手数料	9
事業費計	3,940
人件費	0
業務代行手数料	272
通信費	49
自動引落手数料	51
その他経費	93
管理費計	465
経常費用合計	4,405
<b>III 当期正味財産増減額</b>	$\Delta 1,538$
<b>IV 前期繰越正味財産額</b>	15,873
<b>V 次期繰越正味財産額</b>	14,335

- 令和5年度は、156名の皆様からご寄付をいただき、寄付総額は2,867千円と前年度より192千円増加しました。口座引落終了期限を迎えられた方、ご逝去された方もおられ、寄付者は13名減少しましたが、大口の寄付にも支えられる形となりました。長年のご支援に感謝するとともに、ご逝去された方には心よりお悔やみ申し上げます。
- 専用の「払込取扱票」を使った寄付は71件（前年度66件）でした。
- 一方、令和5年度の事業費合計額は、3,940千円で受取寄付金の137%となっております。寄付金をできるだけ効率的に支援金に回して、繰越金を減らしていくことが寄付いただいている皆様のご意向に即しているとの考えに基づくものです。
- 寄付先としては、仙台ラ・サール・ホーム出身の大学生・専門学校生6名に対する奨学金102万円、ミャンマー国内の避難民に対する継続的な人道支援並びに教育支援281万円、「ふじのくに留学生ツアー」運営支援資金10万円となっております。
- その結果、当期正味財産額は153万円減少して、次期繰越財産額は1,433万円となりました。



SCOLA ホームページ



YouTube SCOLA



### <編集後記>

- ・ 今年の梅雨は真夏のような暑さが続きました。梅雨明け後の気温が心配になります。体調にお気を付けください。
- ・ SCOLAの広報活動も、この機関誌とYouTubeでの動画配信を行っていますが、内容に関しては試行錯誤を繰り返しています。新しいアイデアなど、ぜひ感想をお聞かせください。
- ・ また、掲載して欲しい記事などご意見がございましたら、下記のメールアドレスまでご連絡ください。  
（理事 紺野晃則） e-mail:scola@ls-scola.jp